

# 聖書

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
宗教	聖書	1	高校1年 G一貫	『聖書（新共同訳）』日本聖書協会 『キリスト教入門』キリスト教 学校教育同盟編、創元社	『聖書資料集 キリスト教との出会い』富田正樹、日本キリスト教団 出版局

学習目標	教会についての知識を習得し、イエス・キリストの生涯について学ぶ。また、一般的なキリスト教会の祭儀やキリスト教行事について学ぶ。
学習の進め方	授業内容をしっかり把握することが求められるので、聖書や副教材にはできるだけ目を通すこと。レポートやノート提出を重視する。
評価対象・方法	授業の取り組み、定期テスト、提出物、レポートから総合的に判断する。
受講に向けての心構えと準備	一貫コースでは聖書に関しては既知の内容として進め深く掘り下げていくので、中学時代に扱った聖書の内容を把握しておくこと。また社会情勢や日常生活に様々な角度から目を向け疑問を抱き、自分自身の「問い」を持ちながら授業に取り組んでいただきたい。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	アンケート キリスト教の歴史	中学時代に学んだキリスト教全体をおさらいし、生徒のキリスト教観の現状把握を行い重要点を確認補強する。 旧約聖書の時代から宗教改革までのキリスト教の歴史を学び、どのような流れで現代まで受け継がれてきたのかを理解を深める。	キリスト教教育週間(6月)には、キリスト教会の礼拝出席を勧めている。
	建学の精神	創立時の横須賀学院や横須賀の歴史、建学の精神について学ぶ。また、レポートを課し評価を中間考査における評価とする。レポートのテーマについては、それまでの授業進度に合わせて別途提示	
	期末試験		
二学期	教会	キリスト教会の成立と、キリスト教の一年の暦を学び、それぞれの暦や祝日の意味などを、本学における諸行事と関連させて理解を深める。	
	イエス・キリスト	イエス・キリストの誕生とその背景について、特にクリスマスとの関連を中心に理解する。また、イエス・キリストの生涯について学ぶ。尚、夏休み同様に冬期のレポートを課し、中間考査の成績とする。レポートのテーマについては、別途提示する。	キリストの誕生、その後の歩みはどんな意味をもっていたか、自分との関わりを意識しながら考える。
	期末試験		
三学期	十字架と復活	イエス・キリストが十字架にかけられ、復活された出来事と、教えについて理解する。受難節と復活節の暦について理解を深めると共に、一年間の学びのしめくくりをする。	
	学年末試験		